



新工SPH通信

VOL.82

新潟県立新潟工業高等学校

SPH推進委員会

平成31年1月11日

Community cooperation

平成30年12月6日(木)午前、修学旅行の中で班別研修を行いました。5、6人の班ごとに台湾の大学生が1人ついて、台湾を案内してもらいながら、交流を行いました。



【台湾の大学生との交流（ブラザーアンドシスタープログラム）基本コース】

- ① 流行発信地などを楽しむコース（永康街 ⇒ 西門町 ⇒ カルフール桂林街 など）
- ② 台北の街を一望する台北101コース（台北101 ⇒ 四四南村 ⇒ 迪化街・霞海城隍廟 など）
- ③ グルメとおしゃれ雑貨エリア（永康街 ⇒ 東區 ⇒ 龍山寺 など）
- ④ 関羽を祀る寺廟とおみやげエリア（永康街 ⇒ 行天宮 ⇒ 占い横丁 ⇒ 龍山寺 など）

【生徒の感想（スキルアップシートより）】

- 英語での会話はとても難しく、日常会話ですらできないことを痛感した。なので今後は普段から意識して授業に取り組みたいです。
- 伝えたいこと（単語）をわからなくても、知っていること（単語）を上手くつなげて質問すれば、大体のことは理解してくれると思った。伝えようとするのが大切だと分かった。
- 台湾の大学生との交流はとても楽しかった。大学生は自分達に楽しんでもらおうとして、なれない日本語をがんばって自分達に伝えようとしていたり、行きたい場所への道が分からないときに、道端にいる人に聞いて案内してくださったのでとても感謝しています。自分も困っている人が周りにいたら助けたいと思いました。
- 今日を通して思ったことは、海外の人と交流することはこんなにも楽しいと分かりました。
- 台湾の人々は、店の人でも、日本語を学んでいる大学生も、積極的に日本語を使い、分からない単語でも聞いて日本語で返答をしてくださる事から、言語の必要性や新しいことに挑戦する事の大切さを学びました。
- 一つ国境を渡れば、さまざまな景色や違う環境を肌で感じ、見ることができるということを実際に知ることができた。非常に楽しく、そして、自分の価値観や考え方を大きく改め、考えさせられる体験ができた。
- 実際に現地に来て、質問をしたり、自ら行動することで、すごく自分の身になっているなど実感しました。
- やはり言葉ではなく気持ちだなと思いました。日本に対しては良いイメージなのか優しい人が多かったと思います。

【生徒の変容と身についた力（スキルアップシートより）】

- 一人一人の生徒がコミュニケーションの重要性を体感し、語学に対する意欲が高まった。
- 台湾の人々に親切に接してもらったことから、自分も周囲の人にやさしくしようとする生徒が多く見られた。
- 国際交流の楽しさを知り、さらに世界の人々と友好的な関係を築きたいと考える生徒がでてきた。